

#4 0390

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

APPLICANT: HIROYUKI HIRATA, ET AL.)
SERIAL NO.: 09/997,067) Group Art Unit:
FILED: November 29, 2001) Examiner:
FOR: DATA DISTRIBUTION SYSTEM, DATA)
DISTRIBUTING APPARATUS, AND)
DATA DISTRIBUTION METHOD)



CLAIM FOR PRIORITY

The Assistant Commissioner for
Patents and Trademarks
Washington, D.C. 20231

Dear Sir:

Enclosed herewith is a certified copy of the Japanese Patent Application No. 2000-365490 filed on November 30, 2000. The enclosed Application is directed to the invention disclosed and claimed in the above-identified application.


Applicants hereby claim the benefit of the filing date of November 30, 2000 of the Japanese Patent Application No. 2000-365490, under provisions of 35 U.S.C. 119 and the International Convention for the protection of Industrial Property.

I HEREBY CERTIFY THAT THIS CORRESPONDENCE
IS BEING DEPOSITED WITH THE UNITED STATES
POSTAL SERVICE AS FIRST CLASS MAIL IN AN
ENVELOPE ADDRESSED TO:
ASSISTANT COMMISSIONER FOR PATENTS
WASHINGTON, D. C. 20231

ON March 18, 2002
DATE OF DEPOSIT
Jennifer Haysen
(TYPED OR PRINTED NAME OF PERSON MAILING PAPER OR FEE)
3/18/02
DATE

Respectfully submitted,
HIROYUKI HIRATA, ET AL.

CANTOR COLBURN LLP
Applicants' Attorneys

By: 
Daniel F. Drexler
Registration No. 47,535
Customer No. 23413

Date: 3-18-02
Address: 55 Griffin Road South, Bloomfield, CT 06002
Telephone: 860-286-2929



Translation of Priority Certificate

JAPAN PATENT OFFICE

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

Date of Application:

November 30, 2000

Application Number:

**Patent Application
No. 2000-365490**

Applicant(s):

SANYO ELECTRIC CO., LTD.

November 30, 2001

**Commissioner, Japan Patent Office
Kozo Oikawa**

Priority Certificate No. 2001-3104646

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日
Date of Application:

2000年11月30日

出 願 番 号
Application Number:

特願2000-365490

出 願 人
Applicant(s):

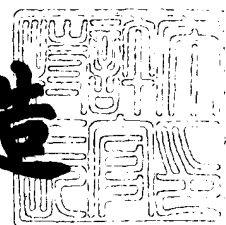
三洋電機株式会社

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年11月30日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



【書類名】 特許願

【整理番号】 KJA1000045

【提出日】 平成12年11月30日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/40

【発明者】

 【住所又は居所】 大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三洋電機株式会社
社内

 【氏名】 平田 博之

【発明者】

 【住所又は居所】 大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三洋電機株式会社
社内

 【氏名】 奥村 貴志

【発明者】

 【住所又は居所】 大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三洋電機株式会社
社内

 【氏名】 八木 宏憲

【特許出願人】

 【識別番号】 000001889

 【氏名又は名称】 三洋電機株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100075258

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 吉田 研二

 【電話番号】 0422-21-2340

【選任した代理人】

 【識別番号】 100081503

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 金山 敏彦

【電話番号】 0422-21-2340

【選任した代理人】

【識別番号】 100096976

【弁理士】

【氏名又は名称】 石田 純

【電話番号】 0422-21-2340

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 001753

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 データ配信システム及び装置並びに方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ネットワークを用いてユーザに対してデータを配信する方法であって、

ユーザから返却された機器に記憶されたデータを入力し、

前記ユーザに対して一意に付与されたアドレスと関連付けて前記データを前記ネットワークに接続されたサーバコンピュータに記憶し、

前記ユーザの端末から前記アドレスを用いて前記サーバコンピュータにアクセスした場合に、前記データを前記ネットワークを介して前記ユーザの端末に送信する

ことを特徴とするデータ配信方法。

【請求項 2】 請求項 1 記載の方法において、

前記アドレスは、前記ユーザが視認可能な形式で前記機器に予め付与されていることを特徴とするデータ配信方法。

【請求項 3】 請求項 1 記載の方法において、

前記アドレスは、前記機器の固有情報から生成されることを特徴とするデータ配信方法。

【請求項 4】 請求項 1 記載の方法において、

前記アドレスは、前記機器のメモリに予め記憶されており、

前記データを入力するとともに前記メモリに記憶されている前記アドレスを入力して前記サーバコンピュータに記憶することを特徴とするデータ配信方法。

【請求項 5】 請求項 1 記載の方法において、

前記アドレスは、前記ユーザの固有情報から生成されることを特徴とするデータ配信方法。

【請求項 6】 請求項 1 ～ 5 のいずれかに記載の方法において、

前記アドレスは、URLであることを特徴とするデータ配信方法。

【請求項 7】 請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の方法において、

入力された前記データは、前記ネットワークを介して前記サーバコンピュータ

に送信され前記サーバコンピュータに記憶されることを特徴とするデータ配信方法。

【請求項 8】 請求項 1 ～ 7 のいずれかに記載の方法において、
前記ユーザの端末は、コンピュータ、携帯電話、デジタルテレビの少なくともいずれかであることを特徴とするデータ配信方法。

【請求項 9】 請求項 1 ～ 8 のいずれかに記載の方法において、
前記データは、画像データあるいは音声データの少なくともいずれかを含むことを特徴とするデータ配信方法。

【請求項 1 0】 請求項 1 ～ 9 のいずれかに記載の方法において、
前記機器はデジタルカメラであることを特徴とするデータ配信方法。

【請求項 1 1】 ネットワークを介してユーザにデータを配信するシステムであって、

ユーザから返却された機器に記憶されたデータを入力するデータ入力手段と、
前記データを前記ユーザに対して一意に与えられたアドレスと関連付けて記憶する、前記ネットワークに接続された記憶手段と、

前記ユーザの端末からの前記アドレスを用いたアクセスに対して前記記憶手段に記憶された前記データを検索し、前記データを前記ネットワークを介して前記ユーザの端末に送信する処理手段と、

を有することを特徴とするデータ配信システム。

【請求項 1 2】 請求項 1 1 記載のシステムにおいて、さらに、
前記データ入力手段で入力された前記データ及び前記アドレスを前記ネットワークを介して前記記憶手段に送信するデータ送信手段と、
を有することを特徴とするデータ配信システム。

【請求項 1 3】 請求項 1 1、1 2 のいずれかに記載のシステムにおいて、さらに、

前記機器の固有情報から前記アドレスを生成するアドレス生成手段と、
を有することを特徴とするデータ配信システム。

【請求項 1 4】 請求項 1 1、1 2 のいずれかに記載のシステムにおいて、さらに、

前記ユーザの固有情報から前記アドレスを生成するアドレス生成手段と、
を有することを特徴とするデータ配信システム。

【請求項 1 5】 請求項 1 1、1 2 のいずれかに記載のシステムにおいて、
前記データ入力手段は、前記データとともに前記機器に予め記憶された前記アドレスを入力することを特徴とするデータ配信システム。

【請求項 1 6】 請求項 1 1～1 5 のいずれかに記載のシステムにおいて、
前記アドレスは URL であることを特徴とするデータ配信システム。

【請求項 1 7】 請求項 1 1～1 6 のいずれかに記載のシステムにおいて、
前記データは画像データあるいは音声データの少なくともいずれかであることを特徴とするデータ配信システム。

【請求項 1 8】 請求項 1 1～1 7 のいずれかに記載のシステムにおいて、
前記機器はデジタルカメラであることを特徴とするデータ配信システム。

【請求項 1 9】 ネットワークを介してユーザにデータを配信する装置であ
って、

ユーザから返却された機器に記憶されたデータを前記ユーザに対して一意に付
与されたアドレスに関連付けて記憶する手段と、

前記ユーザの端末からの前記アドレスによるデータ要求を受け付け、前記デー
タを前記ネットワークを介して前記ユーザの端末に送信する手段と、
を有することを特徴とするデータ配信装置。

【請求項 2 0】 請求項 1 9 記載の装置において、
前記アドレスは、前記機器の固有情報から生成されたものであることを特徴と
するデータ配信装置。

【請求項 2 1】 請求項 1 9 記載の装置において、
前記アドレスは、前記ユーザの固有情報から生成されたものであることを特徴
とするデータ配信装置。

【請求項 2 2】 請求項 1 9 記載の装置において、
前記アドレスは、前記機器の内蔵メモリに予め記憶されたものであることを特
徴とするデータ配信装置。

【請求項 2 3】 請求項 1 9～2 2 のいずれかに記載の装置において、

前記アドレスはURLであり、

前記送信する手段は、前記データをホームページ形式で前記ユーザの端末に送信することを特徴とするデータ配信装置。

【請求項 2 4】 請求項 1 9 ～ 2 3 のいずれかに記載の装置において、
前記データは画像データあるいは音声データの少なくともいずれかを含むことを特徴とするデータ配信装置。

【請求項 2 5】 請求項 1 9 ～ 2 4 のいずれかに記載の装置において、
前記機器はデジタルカメラであることを特徴とするデータ配信装置。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明はデータ配信システム及び装置並びに方法、特にネットワークを用いてユーザに画像データ等を配信する技術に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

近年のインターネット技術の進歩などを背景として、種々のデータをインターネットを介してユーザに提供するサービスが提案されている。例えば、画像データや音楽データなどをサーバコンピュータからインターネットを介してユーザ端末に配信する、光学カメラで得られた銀塩写真をスキャナで走査してデジタル画像データとし、このデジタル画像データをインターネットを介してサーバコンピュータに格納する、あるいはデジタルカメラで撮影した画像をインターネットを介して所定のサービスセンターに送り、所定のサービスセンタでプリントアウトしてユーザに郵送する等である。

【 0 0 0 3 】

【発明が解決しようとする課題】

デジタルカメラで撮影した画像をインターネットを介して所定のサービスセンタに送り、プリントアウトするサービスはユーザが高価なプリンタを所有する必要がないというメリットがある。その一方、ユーザは、高価なデジタルカメラを購入して画像を取得しなければならず、また所望の画像を得るために常にデジタ

ルカメラを携帯しなければならない煩雑さもある。さらに、デジタルカメラで得られた画像を所定のサービスセンタに送るためには、ユーザは自己の所有するパーソナルコンピュータ等の端末にデジタルカメラで得られた画像を入力し、端末をインターネットに接続して当該画像データを送信する必要があり、相応の知識と設備が必要とされる問題もある。特に、近年においては年齢層を問わずデジタルカメラを使用する傾向にあり、より簡易に自己の取得したデータを視認可能な状態で入手したいと欲する傾向が強い。

【 0 0 0 4 】

本発明は、上記従来技術の有する課題に鑑みなされたものであり、その目的は、従来以上に簡易に、かつ効率的に所望のデータを取得することができるシステムあるいは方法を提供することにある。

【 0 0 0 5 】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明は、ネットワークを用いてユーザに対してデータを配信する方法であって、ユーザから返却された機器に記憶されたデータを入力し、前記ユーザに対して一意に付与されたアドレスと関連付けて前記データを前記ネットワークに接続されたサーバコンピュータに記憶し、前記ユーザの端末から前記アドレスを用いて前記サーバコンピュータにアクセスした場合に、前記データを前記ネットワークを介して前記ユーザの端末に送信することを特徴とする。ユーザに対してデジタルカメラ等の機器を貸与し、ユーザが所望のデータを取得して返却した場合にその機器が記憶するデータを入力し、アドレスと関連付けてサーバコンピュータ（サーバ）に記憶することで、ユーザはアドレスを用いて容易に自己の取得したデータを入手することができる。

【 0 0 0 6 】

ここで、前記アドレスは、前記ユーザが視認可能な形式で前記機器に予め付与することができる。これにより、ユーザは少なくとも機器を返却する時点においてアドレスを知ることができ、返却後にこのアドレスを用いてサーバから自己の取得したデータを入手することができる。

【 0 0 0 7 】

また、前記アドレスは、前記機器の固有情報から生成することができる。機器の固有情報を用いることで、ユーザに対して一意にアドレスを付与することができる。固有情報としては、例えば機器の製造番号あるいはシリアルN oを用いることができ、バーコード形式で機器を識別する情報が機器に付与されている場合にはこのバーコードデータを用いることもできる。

【 0 0 0 8 】

また、前記アドレスは、前記機器のメモリに予め記憶されており、前記データを入力するとともに前記メモリに記憶されている前記アドレスを入力して前記サーバコンピュータに記憶することもできる。これにより、機器が返却される店舗等での手間を省くとともに確実にサーバにアドレスを供給することができる。メモリは、ROMあるいはRAMのいずれであってもよい。

【 0 0 0 9 】

また、前記アドレスは、前記ユーザの固有情報から生成することもできる。ユーザの固有情報から生成することで、ユーザは容易にアドレスを知ることができる。

【 0 0 1 0 】

本発明において、前記アドレスは、例えばHTTPにおけるURLとすることができる。URLによりWebページを一意に特定することができ、当該Webページにユーザの取得したデータを掲載することで、URLを用いて自己の所得したデータに容易にアクセスすることができる。

【 0 0 1 1 】

本発明において、入力された前記データを前記ネットワークを介して前記サーバコンピュータに送信し前記サーバコンピュータに記憶することができる。

【 0 0 1 2 】

また、本発明において、前記ユーザの端末として、コンピュータ、携帯電話、デジタルテレビの少なくともいずれかを用いることができる。

【 0 0 1 3 】

また、本発明において、前記データは、画像データあるいは音声データの少なくともいずれかとすることができる。画像データとしては、静止画の他、動画で

あってもよい。

【 0 0 1 4 】

ユーザに貸与され、ユーザから返却される機器としては、例えばデジタルカメラを用いることができる。

【 0 0 1 5 】

また、本発明は、ネットワークを介してユーザにデータを配信するシステムを提供する。このシステムは、ユーザから返却された機器に記憶されたデータを入力するデータ入力手段と、前記データを前記ユーザに対して一意に与えられたアドレスと関連付けて記憶する、前記ネットワークに接続された記憶手段と、前記ユーザの端末からの前記アドレスを用いたアクセスに対して前記記憶手段に記憶された前記データを検索し、前記データを前記ネットワークを介して前記ユーザの端末に送信する処理手段とを有する。

【 0 0 1 6 】

本システムにおいて、さらに、前記データ入力手段で入力された前記データ及び前記アドレスを前記ネットワークを介して前記記憶手段に送信するデータ送信手段を有することもできる。

【 0 0 1 7 】

また、本システムにおいて、さらに、前記機器の固有情報から前記アドレスを生成するアドレス生成手段を有することもできる。

【 0 0 1 8 】

また、本システムにおいて、さらに、前記ユーザの固有情報から前記アドレスを生成するアドレス生成手段を有することもできる。

【 0 0 1 9 】

また、本システムにおいて、前記データ入力手段は、前記データとともに前記機器に予め記憶された前記アドレスを入力することが好適である。

【 0 0 2 0 】

本システムにおいても、前記アドレスとしてはURLとすることができ、前記データとしては画像データあるいは音声データの少なくともいずれかとすることができ。また、前記機器はデジタルカメラとすることができ。

【 0 0 2 1 】

本発明は、さらに、ネットワークを介してユーザにデータを配信する装置を提供する。この装置は、ユーザから返却された機器に記憶されたデータを前記ユーザに対して一意に付与されたアドレスに関連付けて記憶する手段と、前記ユーザの端末からの前記アドレスによるデータ要求を受け付け、前記データを前記ネットワークを介して前記ユーザの端末に送信する手段とを有する。

【 0 0 2 2 】

本装置においても、前記アドレスは前記機器の固有情報から生成することができ、あるいは、前記アドレスは前記ユーザの固有情報から生成することができる。また、前記アドレスは前記機器の内蔵メモリに予め記憶されていてもよい。

【 0 0 2 3 】

また、本装置において、前記アドレスはURLであり、前記送信する手段は、前記データをホームページ（Webページ）形式で前記ユーザの端末に送信することが好適である。

【 0 0 2 4 】

本装置においても、前記データは画像データあるいは音声データの少なくともいずれかを含むことができ、前記機器としてはデジタルカメラとすることができる。

【 0 0 2 5 】

本装置は、インターネット等のネットワークに接続されたサーバコンピュータとして機能することができる。

【 0 0 2 6 】

【発明の実施の形態】

以下、図面に基づき本発明の実施形態について説明する。

【 0 0 2 7 】

図1には、本実施形態に係るシステム概念図が示されている。ユーザ10、店舗12、サーバ14がインターネット16を介して相互に接続される。ユーザ10は、店舗12において所望の機器、例えばデジタルカメラの貸与を受け、所望の画像データや音声データを取得する。これらのデータの取得は、ユーザがテ-

マパークや遊園地、ビジネス上の展示会や市街地等、種々の屋内外で人物や風景を撮影したり、人物の声やその他の音を録音することで達成される。より具体的には、テーマパークでの記念撮影、山の風景、市街地で友人同士の撮影、展示会等出張先の様子の撮影である。所望のデータを取得した後、ユーザ 1 0 は店舗 1 2 に機器を返却する。店舗 1 2 は所定位置に設置されたコンビニエンスストアなどで構成され、店舗 1 2 では、返却された機器からユーザ 1 0 の取得したデータを読み出すとともに、ユーザ 1 0 に対してインターネット 1 6 を介してその取得したデータを入手するためのアドレスを供与する。アドレスは、例えばユーザが取得したデータを Web ページ形式で入手する際には HTTP（ハイパーテキストトランスファープロトコル）で用いられる URL（ユニフォームリソースロケータ）とすることができる。アドレスの具体的な付与方法については後述する。

【 0 0 2 8 】

ユーザ 1 0 が取得したデータを機器から読み出した店舗 1 2 は、読み出したデータをインターネット 1 6 を介してサーバ 1 4 に送信する。また、ユーザが取得したデータとともに、ユーザ 1 0 に与えた上記のアドレスも同時にサーバ 1 4 に送信する。サーバ 1 4 では、店舗 1 2 から供給されたデータをそのアドレスに関連付けて記憶する。例えば、データを HTML（ハイパーテキストマークアップランゲージ）形式で記述された Web ページに表示する際には、その Web ページの URL を店舗 1 2 から与えられたアドレスとするなどである。

【 0 0 2 9 】

このようにして、サーバ 1 4 には、ユーザ 1 0 が借り受けた機器により取得したデータが記憶されており、またこのデータにアクセスするためのアドレスも与えられているため、ユーザ 1 0 はこのアドレスを用いて自己の取得したデータにアクセスすることができ、ユーザ 1 0 はインターネット 1 6 を介して必要なときに取得したデータを入手することができる。

【 0 0 3 0 】

図 2 には、図 1 における店舗 1 2 の構成ブロック図が示されている。ユーザ 1 0 から返却された機器、例えばデジタルカメラ 1 7 のメモリにはユーザが撮影した画像データやユーザが入力した音声データが記憶されており、店舗 1 2 のデー

タ入力部 1 2 a はデジタルカメラ 1 7 のメモリからこれらの画像データや音声データを読み出して入力する。データの転送は、電波や赤外線を用いた無線通信やデータラインやコネクタを利用した有線通信により行われる。但し、有線通信の場合、一般のコンピュータ等の機器でデータを取り込めないようにそれらと互換性のない特別な形状のデータライン、コネクタとするのが望ましい。また、無線通信の場合、特別な伝送方式やスクランブルをかけてデータ転送を行うのが望ましい。店舗でデジタルカメラ 1 7 からデータ転送を開始させる際には、例えば外部電波がデジタルカメラ 1 7 に投入されたことを検出したり、また、機械的にピンがデジタルカメラ 1 7 に差し込まれたことを検出する等、外部要因を検出して転送プログラムを起動し、データ転送を開始するようにしてもよい。読み出した画像データや音声データはデータ送信部 1 2 b に送られ、データ送信部 1 2 b はインターネット 1 6 を介してサーバ 1 4 に送信する。一方、ユーザ 1 0 に対して一意に与えられたアドレスもデータ入力部 1 2 a に入力され、データ送信部 1 2 b を介してサーバ 1 4 に送信される。アドレスはユーザ 1 0 から返却された機器に予め付与されていてよく、あるいは返却された機器とは別個に生成されデータ入力部 1 2 a に入力されてもよい。

【 0 0 3 1 】

図 3 には、データ送信部 1 2 b からサーバ 1 4 にインターネット 1 6 を介して送信されるデータのフォーマット例が示されている。送信されるデータ 1 8 は、ヘッダ部、ユーザ 1 0 に一意に与えられるアドレス（図においては URL）、画像データ、音声データを含んで構成される。サーバ 1 4 では、このようなデータフォーマットのデータを受信することで、ユーザが取得した画像データ及び音声データを URL と関連付けて記憶することが可能となる。

【 0 0 3 2 】

ユーザに一意に付与されるアドレスは、上述したようにユーザ 1 0 から返却される機器 1 7 に予め与えることができる。図 4 には、ユーザ 1 0 に対して貸与され、そして返却される機器の一例としてデジタルカメラ 1 7 の構成が示されている。デジタルカメラ 1 7 としては、市販のデジタルカメラと異なり、その機能を制限することができる。例えば、デジタルカメラ 1 7 の電源としての電池は市販

の電池との互換性がなく、またメモリ（フラッシュメモリ）に記憶されたデータを通常のパーソナルコンピュータに入力するための接続端子も有している必要はない。さらに、貸与時の料金に応じて撮影可能枚数に制限を設けたり、あるいは貸与時の料金に応じて撮影解像度に制限を設けることもできる。デジタルカメラ 1 7 にタイマーを設け、貸与時からカウントダウンを開始することにより貸与から一定期間内のみ撮影機能を動作させ、返却され易くすることもできる。また、返却率を向上させるために、撮影枚数またはデータ量に応じて返金額を変更するようにしてもよい。そして、デジタルカメラ 1 7 の所定箇所にはアドレス（図では URL の場合が示されている）を示すシールが貼付されており、ユーザ 1 0 が店舗 1 2 にこのデジタルカメラ 1 7 を返却する際、店舗 1 2 側ではアドレス URL が記載されたシール 1 7 a をデジタルカメラ 1 7 から剥がし、ユーザ 1 0 に付与することでユーザ 1 0 に対してアドレスを与えることができる。また、シール 1 6 a に記載されたアドレスと同一のデータがデジタルカメラの所定位置に例えばバーコードのように機械読み取り可能な形式で設けられ、店舗 1 2 に設けられた読取装置により読み取られ、データ入力部 1 2 a に入力することができる。もちろん、シール 1 7 a が 2 枚組となっており、1 枚をユーザ 1 0 に付与し、もう 1 枚を機械読み取り用に供することもできる。また、シール 1 7 a はデジタルカメラ 1 7 の本体に貼付されている必要はなく、例えばデジタルカメラ 1 7 のパッケージに付与されており、ユーザ 1 0 がデジタルカメラ 1 7 を借り受け、使用するときパッケージを破棄することで始めてそのアドレスを確認できる構成とすることもできる。さらに、デジタルカメラ 1 7 のメモリ（フラッシュメモリなど）に予めシール 1 7 a に記述されたアドレスと同一のアドレスデータを記憶しておき、デジタルカメラ 1 7 のフラッシュメモリに記憶された画像データや音声データを読み出す際にこのアドレスデータも読み出してデータ入力 1 2 a に入力することも好適である。

【 0 0 3 3 】

図 5 には、デジタルカメラ 1 7 のフラッシュメモリにアドレスデータを記憶させた場合の一例が示されている。フラッシュメモリ 2 0 には画像データ（音声データ）を格納するためのエリア 2 0 a 及びテキストデータを格納するためのエリ

ア 2 0 b が設けられ、テキストエリア 2 0 b の一部にアドレスエリア 2 0 c が確保され、デジタルカメラ 1 7 の工場出荷時などにおいてこのアドレスエリアに URL などのアドレスデータが記憶される。

【 0 0 3 4 】

もちろん、図 6 に示されるように、デジタルカメラ 1 7 のフラッシュメモリ 2 0 の領域がブートレコード、F A T（ファイルアロケーションテーブル）、ルートディレクトリ、画像データ、音声データの各領域に分割されている場合、画像データ領域や音声データ領域のメモリ容量を確保しつつアドレスデータを記憶するために、例えばルートディレクトリ領域に URL データを記憶させることも可能である。なお、デジタルカメラ 1 7 のフラッシュメモリ 2 0 へのデータ配列は図 5 及び図 6 に記載されたものに限定されず、他の配列でもよい。アドレスデータをフラッシュメモリに記憶させるタイミングは、工場出荷時でもよく、あるいはデジタルカメラ 1 7 がユーザ 1 0 に貸与されるタイミング、あるいはユーザ 1 0 から返却されたタイミングのいずれでもよい。工場出荷時にアドレスデータを記憶させるときには、アドレスデータをそのデジタルカメラ 1 7 が有する固有情報に基づき生成することが好適であり、またデジタルカメラ 1 7 を貸与あるいは返却時に記憶させるときには、ユーザ 1 0 の固有情報に基づいてアドレスデータを生成することが好適である。アドレスデータをデジタルカメラ 1 7 の固有情報に基づき生成するためには、例えばデジタルカメラ 1 7 の製造番号、あるいは製造番号と日付からアドレスデータを生成すればよい。例えばアドレスデータとして URL を用いる場合、「<http://www.sanyo.service/製造番号>」とする等である。店舗 1 2 において、デジタルカメラ 1 7 の製造番号を読取装置で読み取り、URL の形式でプリントアウトして、レシートとともにユーザに付与したり、またレシートに所定の URL をプリントアウトしてユーザに付与することも好適である。この場合、読取装置及びプリント装置がアドレス生成手段として機能することになる。店舗 1 2 に備えられた P O S 端末をそのままアドレス生成手段として機能させてもよい。また、ユーザ 1 0 の固有情報に基づきアドレスデータを生成するためには、例えば、ユーザの自宅の電話番号や携帯電話番号に基づき生成すればよい。この場合、アドレスとして「<http://www.sanyo.service/電話番号>

」等とすることができる。

【 0 0 3 5 】

なお、アドレスとしてはURLではなく、URLと一意に対応している任意のデータを用いることもできる。例えば、ユーザ10に対してあるIDを付与し、店舗12側でこのIDに対して1:1でURLを生成し、IDとともにサーバ14に送信することもできる。ユーザ10はサービスを提供しているWebページにまずアクセスし、このIDを用いてサーバ14からURLを取得し、このURLを用いて自己の取得したデータにアクセスすることができる。

【 0 0 3 6 】

図7には、図1におけるサーバ14の構成が示されている。サーバ14は、入力インターフェースI/F14a、CPU14b、ROM14c、RAM14d、データ記憶部14e及びユーザデータ記憶部14fを有して構成される。店舗12から送信されたアドレス及びユーザ10の取得したデータはインターフェースI/F14aを介してCPU14bに供給される。CPU14bは、受信したアドレス及びデータをデータ記憶部14e及びユーザデータ記憶部14fに記憶する。データ記憶部14eは、ユーザ10が取得したデータをアドレスに関連付けて記憶するものであり、ユーザデータ記憶部14fは、ユーザの個人的データ、例えばユーザの氏名やID、過去の使用履歴などを記憶する。

【 0 0 3 7 】

図8には、データ記憶部14eに記憶されるデータが模式的に示されている。ユーザ10にはユーザ毎にIDが付与され、このIDに基づき各ユーザが一括管理される。そして、各ユーザ毎に付与されたアドレスに関連づけてユーザ10の取得したデータが記憶される。例えば、ユーザID1のユーザはアドレスAAであり、そのデータはP1などである。アドレスとしてURLを用いた場合、データとしてはこのURLで一意に特定されるWebページ（ホームページ）上のデータとなる。この場合、サーバ14は、WWWサーバとして機能する。

【 0 0 3 8 】

そして、図1のようにユーザ10からアドレスを用いてインターネット16を介してサーバ14にアクセス要求があると、CPU14bはデータ記憶部14e

に格納されているそのアドレスに該当するデータを検索し、インターネット 1 6 を介してユーザ 1 0 に送信する。アドレスとして URL を用いる場合、ユーザ 1 0 は端末にインストールされている Web ブラウザを用いて URL をサーバ 1 4 に送信し、サーバ 1 4 から送信されたその URL で一意に示される Web ページをブラウザを用いて端末に表示する。これにより、ユーザ 1 0 は自己の取得したデータをインターネット 1 6 を介して入手することができる。

【 0 0 3 9 】

図 9 には、本実施形態における全体処理フローチャートが示されている。なお、ユーザ 1 0 に貸与され返却される機器としてデジタルカメラ 1 7 を想定している。まず、店舗 1 2 はユーザ 1 0 に対してデジタルカメラを貸与する (S 1 0 1)。この貸与は有料とすることができ、デポジット込みの料金を設定することもできる。ユーザ 1 0 がデジタルカメラ 1 7 を用いて所望の画像データや音声データを取得すると、デジタルカメラ 1 7 を店舗 1 2 に返却する (S 1 0 2)。返却時には、デポジットをユーザ 1 0 に返却してもよい。そして、店舗 1 2 はユーザ 1 0 に対しアドレスを付与する (S 1 0 3)。このアドレスは、上述したように URL でもよく、その URL を得るための ID でもよい。例えば、ユーザ 1 0 の携帯電話番号あるいは自宅の電話番号に所定の文字列を付加して ID とし、ユーザ 1 0 に付与する。例えば、0 9 0 9 9 9 9 9 9 9 A B などである。店舗側 1 2 では、この ID から URL を生成し、サーバ 1 4 に送信する。サーバ 1 4 は、受信した ID と URL をユーザデータ記憶部 1 4 f に格納し、ユーザ 1 0 からこの ID を用いたアクセス要求があった場合にユーザデータ記憶部 1 4 f に記憶された URL を読み出してユーザ 1 0 に送信する。

【 0 0 4 0 】

なお、店舗 1 2 で ID から URL を生成するのではなく、サーバ 1 4 で生成することも可能である。すなわち、店舗 1 2 では ID 及びユーザ 1 0 の取得したデータをサーバ 1 4 に送信し、サーバ 1 4 でその ID に基づいて URL を生成しユーザデータ記憶手段 1 4 f に記憶するとともに、生成した ID と関連付けてデータをデータ記憶部 1 4 e に記憶する。いずれにせよ、この場合の ID も URL を得るための検索キーとして機能するもので、アドレスデータに他ならない。

【 0 0 4 1 】

ユーザ 1 0 に対してアドレスを付与した後、ユーザの取得したデータ及びアドレスを入力し（S 1 0 4）、これらのデータをサーバ 1 4 に送信する（S 1 0 5）。サーバ 1 4 では、店舗 1 2 から送られたデータをアドレスに関連づけて記憶する（S 1 0 6）。なお、サーバ 1 4 が店舗 1 2 内に存在する場合には、インターネット 1 6 を介して店舗 1 2 から送信する必要はなく、データ送信部 1 2 b から店舗 1 2 内のサーバ 1 4 にデータを送信し記憶すればよい。

【 0 0 4 2 】

そして、サーバ 1 4 では、ユーザ 1 0 からのアクセスがあったか否かを判定し（S 1 0 7）、アドレスを用いたアクセス要求があった場合には、そのアドレスに関連づけて記憶されたデータをユーザ 1 0 に対して送信する（S 1 0 8）。

【 0 0 4 3 】

図 1 0 には、ユーザ 1 0 が端末にインストールされた W e b ブラウザを操作し、
アドレスとして U R L を用いてサーバ 1 4 にアクセスし、サーバ 1 4 からこのアクセスに応じて送信された W e b ページの一例が示されている。サーバ 1 4 から送られるデータは U R L で一意に特定される W e b ページ 2 2 であり、この W e b ページ 2 2 には自己が撮影した画像データ 2 2 a、2 2 b が掲載される。画像データ 2 2 a、2 2 b は B M P フォーマットでもよく、J P E G その他任意のフォーマットとすることができる。ユーザ 1 0 はデジタルカメラ 1 7 で所望の画像を撮影し、デジタルカメラ 1 7 を店舗 1 2 に返却するのみで自己の撮影した画像データを有する W e b ページを見ることができる。この W E b ページはユーザ 1 0 に対して作成された W e b ページであり、この意味でサーバ 1 4 はユーザ 1 0 の W e b ページを作成する機能を有するとも言ってもできる。W e b ページ内の配列は予めサーバ 1 4 側で決定してもよく、ユーザ 1 0 がデジタルカメラ 1 7 の返却時や W e b 上への表示の際 W e b 画面上で指定しても良い。ユーザ 1 0 の指定した配列データはユーザデータ記憶部 1 4 f に記憶され、C P U 1 4 b は適宜このユーザデータを読み出すことでそのユーザ 1 0 固有の W e b ページを作成してデータ記憶部 1 4 e に記憶することができる。なお、W e b ページ上への表示

は図 1 0 に限られず、アルバムの如く表示させたり、ビジネス用に出張報告の如く表示させたり、ユーザの希望に合わせて表示形式を選択するようにしてもよい。

【 0 0 4 4 】

また、この Web ページ 2 2 はサーバ 1 4 に格納されているため、例えばユーザ 1 0 が第 3 者にその URL を知らせることで、第 3 者も容易にユーザの Web ページ 2 2 を見ることができる。これにより、ユーザ 1 0 は、自己の取得した画像データや音声データを第 3 者に容易に見せることができる。

【 0 0 4 5 】

また、Web ページと合わせてサーバ 1 4 はフリーボードを設けることもでき、ユーザ 1 0 の Web ページを見た第 3 者がこのフリーボードに自己の意見を書き込むように構成することができる。また、ユーザ 1 0 が Web ページ 2 2 にアクセスした後、自己の ID を入力した場合にはこの Web ページ 2 2 を編集できるようにすることも好適である。これにより、ユーザ 1 0 は自己の撮影した画像データに注釈などを付加することができる。

【 0 0 4 6 】

なお、ユーザが画像データとともにデジタルカメラ 1 7 で音声データを取得した場合、サーバ 1 4 の CPU 1 4 b では、この音声データを公知の音声認識技術を用いてテキストデータ化し、画像データとともに Web ページ 2 2 に掲載することも可能である。

【 0 0 4 7 】

図 1 1 には、このような場合の Web ページ 2 2 が示されており、画像データ 2 2 a の下部にユーザが取得した音声データがテキスト化されてテキストデータ 2 2 c として表示される。また、音声データを画像データに対応してサーバ 1 4 に記憶させ、Web 上には画像データを表示させるとともに、ユーザが音声として聞くようなシステムとしてもよい。

【 0 0 4 8 】

このように、本実施形態においてはユーザ 1 0 は店舗 1 2 から借りた機器を用いて所望のデータを取得し、借りた機器を店舗 1 2 に返却するだけでインターネ

ット 1 6 を介して自己の取得したデータを容易に入手することが可能となり、機器を所有する必要もなく、かつ、機器で取得したデータを自己の所有する端末などからインターネットを用いて送信する必要もなく、必要なときに容易に自己の取得したデータをインターネット 1 6 を介して取得することが可能となる。

【 0 0 4 9 】

以上、本発明の実施形態について説明したが、本発明はこれに限定されるものではなく、種々の変形が可能である。

【 0 0 5 0 】

例えば、本実施形態においては、ユーザ 1 0 は端末を用いてサーバ 1 4 に対してインターネット 1 6 を介してサーバ 1 4 にアクセスしているが、携帯電話を用いてサーバ 1 4 にアクセスすることも可能であり、携帯情報端末（PDA）を用いることも可能である。さらに、インターネット 1 6 に接続されているデジタルテレビやCATVを用いてサーバ 1 4 にアクセスすることも可能である。この場合、デジタルテレビ等にサーバ 1 4 から送られたデータが表示されるため、家族や友人などと共に自己の取得した画像データなどを見ることができる。

【 0 0 5 1 】

また、店舗 1 2 としてはコンビニエンスストアの他、駅などの公共施設、遊園地や博覧会、展示会などの特定のイベント会場に設置することが可能である。これにより、ユーザ 1 0 は特定のイベントの画像データや音声データを取得したいと欲する場合、デジタルカメラなどを携帯する必要はなく、その場で借りて撮影し、後日インターネット 1 6 を介して取得したデータを入手することが可能となる。また、本発明のシステムが導入されているコンビニエンスストア等の店舗が同系列または異系列であっても本システムについて提携している場合には、デジタルカメラ 1 7 を返却した店舗が借りた店舗と異なっても画像データ等をサーバ 1 4 に記憶させることが可能であり、後日インターネット 1 6 を介してデータを取得できる。

【 0 0 5 2 】

また、本実施形態においては店舗 1 2 はユーザ 1 0 の取得したデータをインターネット 1 6 を介してサーバ 1 4 に送信しているが、ユーザが希望する場合には

店舗 1 2 で画像データなどをプリントアウトして手渡すことも可能であり、CD や MD、DVD などの記憶媒体にユーザ 1 0 の取得したデータを格納して手渡すことも可能である。

【 0 0 5 3 】

また、店舗 1 2 においてユーザ 1 0 の取得したデータを入力する際、ユーザ 1 0 が適宜入力すべきデータを選択あるいは指定して入力することも可能である。例えば、店舗 1 2 内にユーザ 1 0 が操作可能な入力装置を設置し、ユーザ 1 0 が取得した画像データを適宜この入力装置の表示画面に表示させ、ユーザが選択した画像データのみをデータ入力装置 1 2 a に入力することも可能である。特に、コンビニエンスストア等の店舗 1 4 においては、既存のマルチメディア端末と前記入力装置とを兼用することも可能であるとともに、このマルチメディア端末を利用して Web 上の表示形式を図 1 0 やアルバム形式、出張報告形式に任意に選択することもできる。

【 0 0 5 4 】

また、本実施形態では、主にユーザ 1 0 に貸与され店舗 1 2 に返却される機器としてデジタルカメラ 1 7 を例にとり説明したが、他の任意の機器、例えばビデオカメラ等にも適用することができ、機器としては必ずしもデジタル機器である必要はなく、アナログ機器を用いることもできる。アナログ機器を用いる場合、店舗 1 2 において、あるいはサーバ 1 4 内においてアナログデータをデジタルデータに変換した後でサーバ 1 4 に記憶することが望ましい。

【 0 0 5 5 】

また、本実施形態において、多数のユーザが利用した場合にはサーバ 1 4 の記憶容量が不足する場合も想定されるため、一定期間のみデータ記憶部 1 4 e にユーザ 1 0 の所得したデータを記憶しておき、一定期間経過後には自動的に削除することも可能である。

【 0 0 5 6 】

また、本実施形態において、アドレスの一種としての ID は文字列の他、そのユーザの個人的な情報を用いることができる。例えばユーザ 1 0 の指紋や瞳情報である。

【0057】

また、本実施形態では、基本的には店舗12でユーザ10にアドレスを付与し、付与したアドレスをインターネット16を介してサーバ14に送信しているが、サーバ14のCPU14bでアドレスを生成し、生成したアドレスをインターネット16を介して店舗12に送信し、店舗12で受信したアドレスをユーザ10に付与することも可能である。例えば、ユーザ10がデジタルカメラ17を返却した際、店舗12はデジタルカメラ17のメモリに記憶された画像データを読み出してサーバ14に送信するが、CPU14bでは先着順にアドレスを生成して

そのアドレスに関連付けて受信した画像データを記憶するとともに、店舗12に生成したアドレスを送信することができる。店舗12では、受信したアドレスを適宜プリントしてユーザ10に付与すればよい。

【0058】

また、本実施形態ではインターネット16を用いてユーザ10にデータを配信しているが、インターネットに限らず、LANやWANなどを用いることも可能であり、有線、無線を問わない。LANを用いた場合、例えば特定の会社においてその従業員にデジタルカメラ17を貸与し、画像データを取得して返却すると、会社のサーバ14にWebページ形式の画像データが記憶されることになり、これを自己が見る他、他人に見せることで報告書として機能させることもできる。

【0059】

さらに、本実施形態において、デジタルカメラ17を返却する毎に新しいURLが発行されて、ユーザに付与されるようにシステムが構成されているが、これに限らずユーザがURLを既に持っている場合には、新たなデータをユーザの希望により同一のURLに対応する記憶領域に記憶させてもよい。この場合には、ユーザのIDによって認証を可能とする。また、例えば会員制のように、会員登録により1人のユーザに1つのURLを分け与えておき、会員ユーザはデジタルカメラ17を返却する毎にそのユーザが会員証等を使ってURLあるいはユーザIDを提示し、常にそのURLに対応する記憶領域に記憶させるようにすること

も可能である。この場合、会員証等のカードにURL、ユーザIDあるいはそれに対応するバーコードのような形式を表示させておき、それらをキーボードや読取装置を使ってデータ入力部20aに取り込むようにしてもよく、ICカードにURLあるいはユーザIDを記憶させておき、それをコネクタや無線送受信技術等電子回路を使ってデータ入力部20aに取り込むこともできる。

【0060】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明よればユーザは自己の取得したデータを極めて容易に、かつ効率的に入手することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 実施形態のシステム概念図である。

【図2】 図1における店舗12の構成ブロック図である。

【図3】 実施形態における送信データフォーマット説明図である。

【図4】 デジタルカメラ17の構成図である。

【図5】 デジタルカメラのフラッシュメモリに記憶されるURL説明図である。

【図6】 デジタルカメラのフラッシュメモリに記憶される他のURL説明図である。

【図7】 図1におけるサーバ14の構成ブロック図である。

【図8】 図7におけるデータ記憶部の構成図である。

【図9】 本実施形態の全体処理フローチャートである。

【図10】 実施形態におけるユーザ端末の画面表示説明図である。

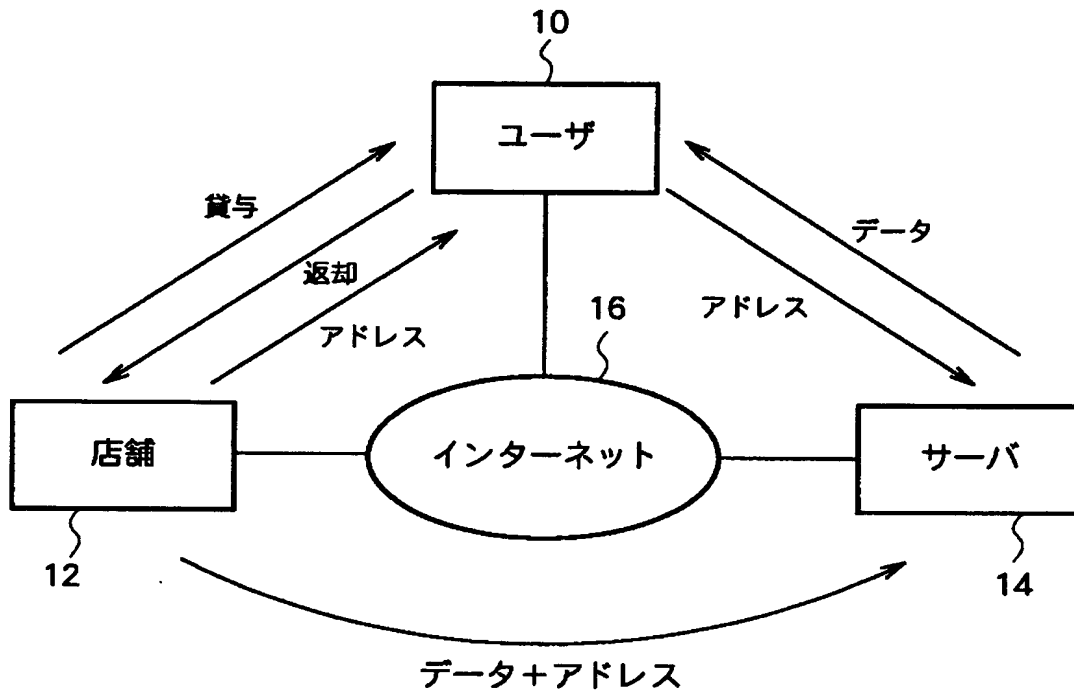
【図11】 実施形態におけるユーザ端末に表示される他の画面表示説明図である。

【符号の説明】

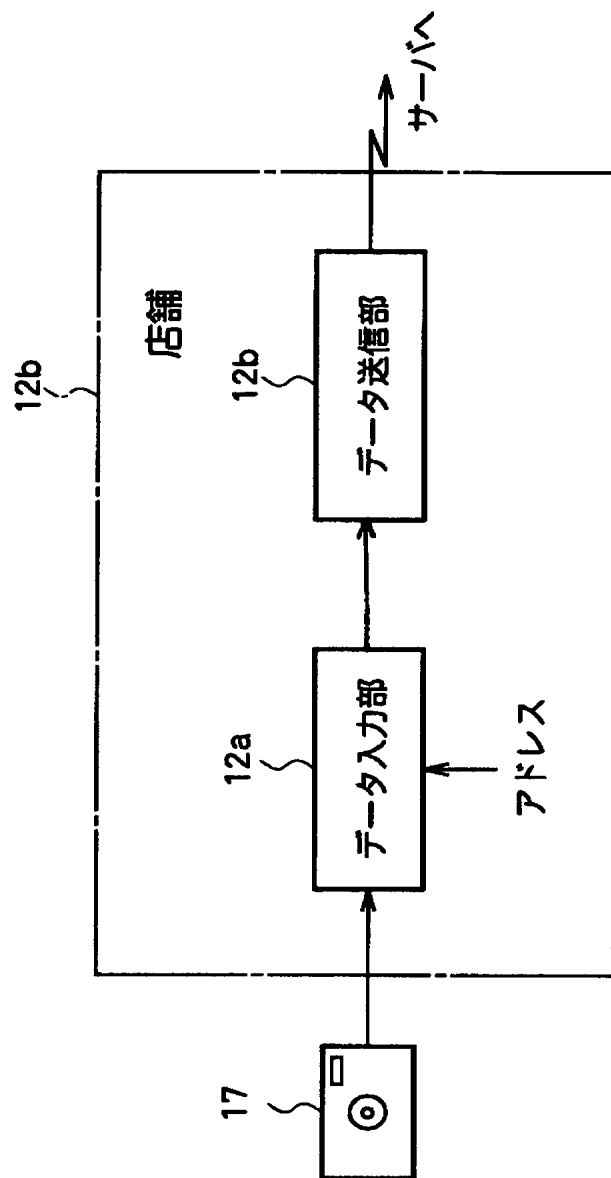
10 ユーザ、12 店舗、14 サーバ、16 インターネット。

【書類名】 図面

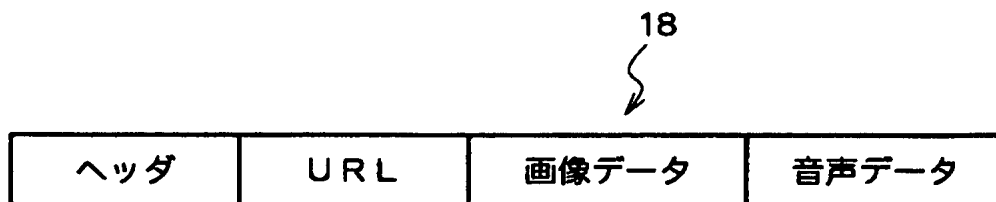
【図 1】



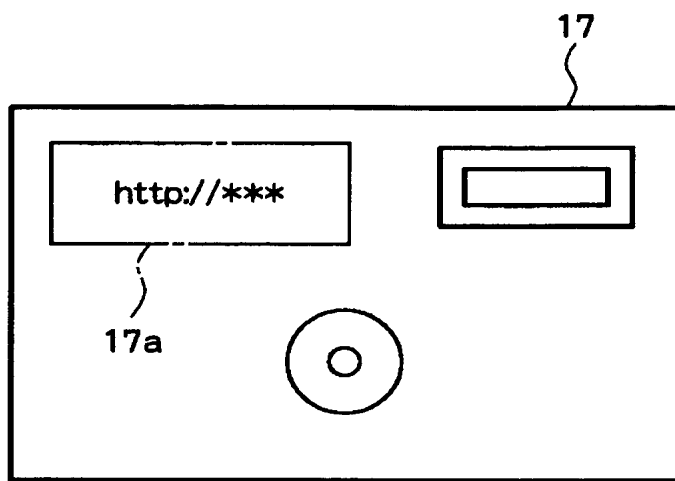
【図 2】



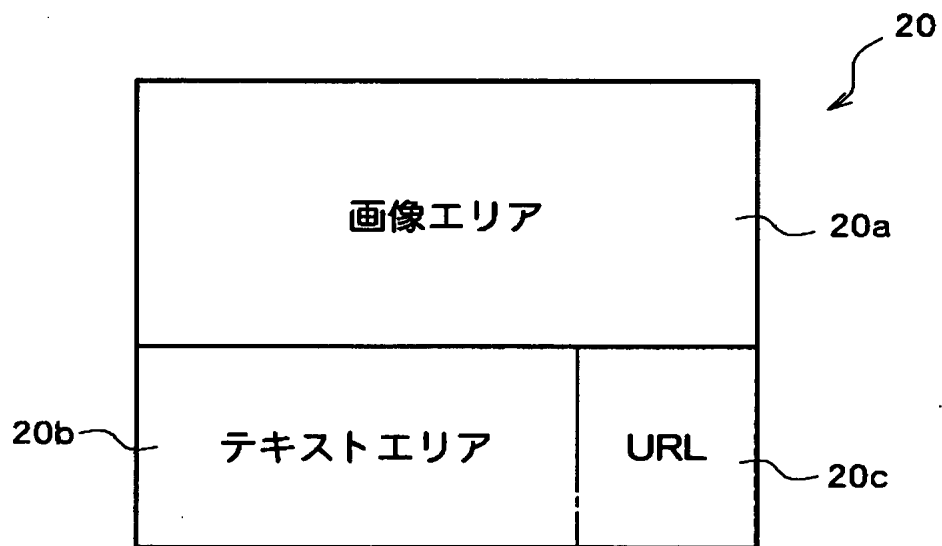
【図 3】



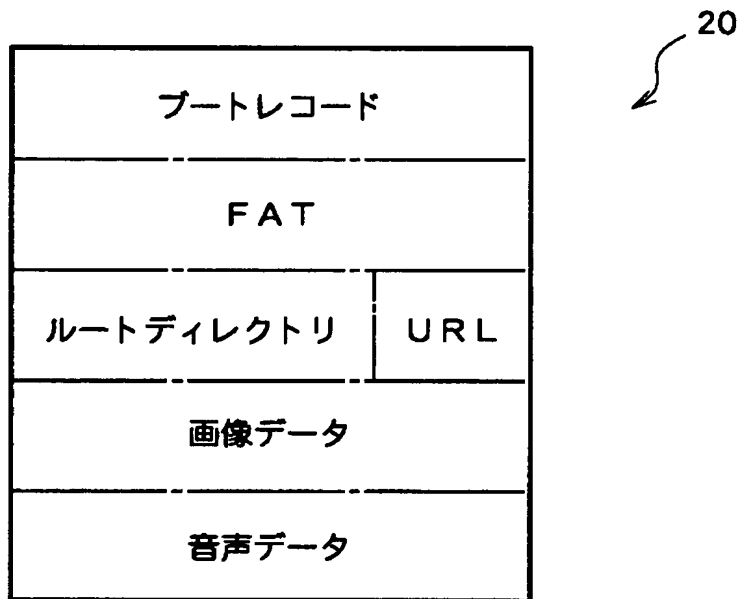
【図 4】



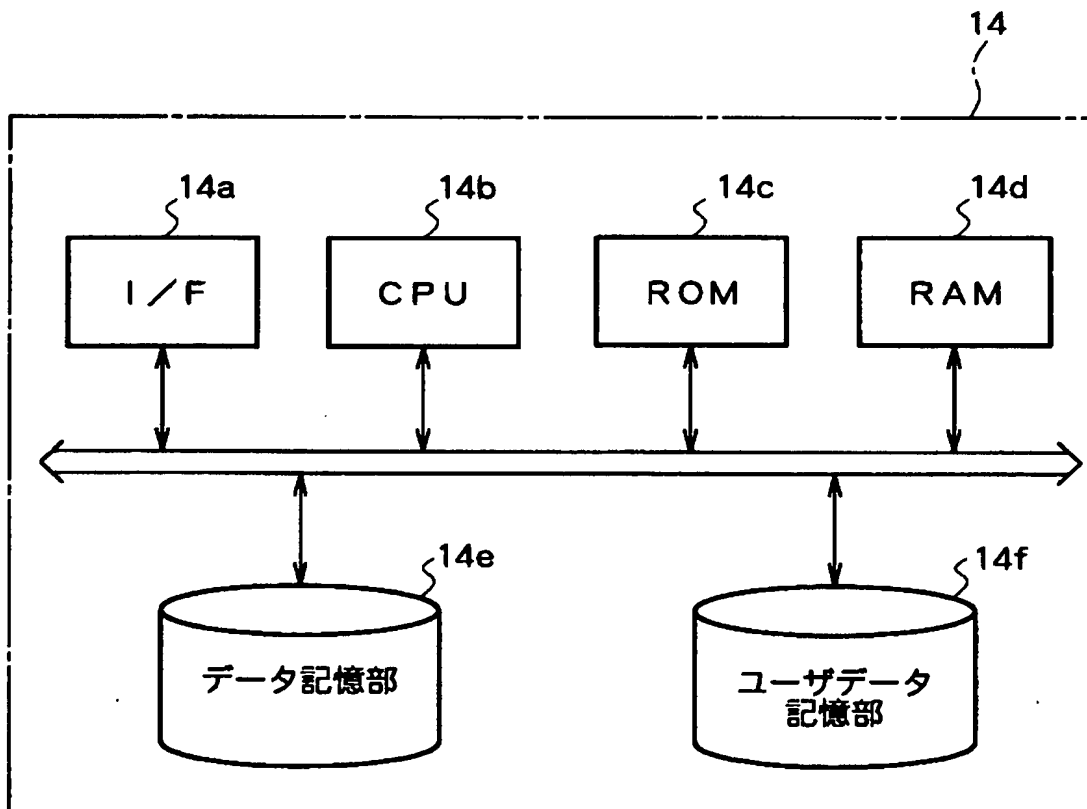
【図 5】



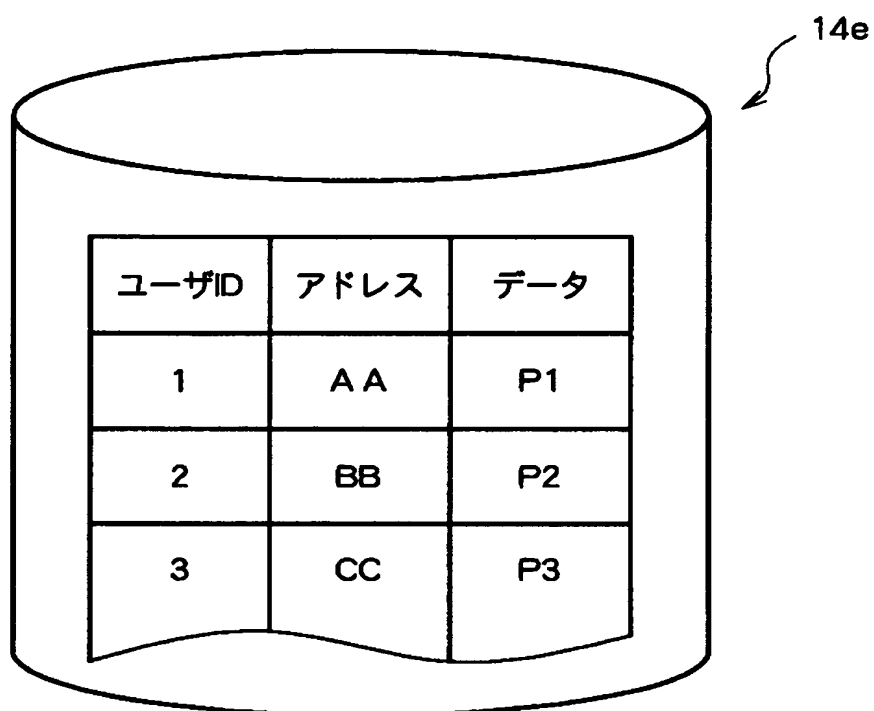
【図 6】



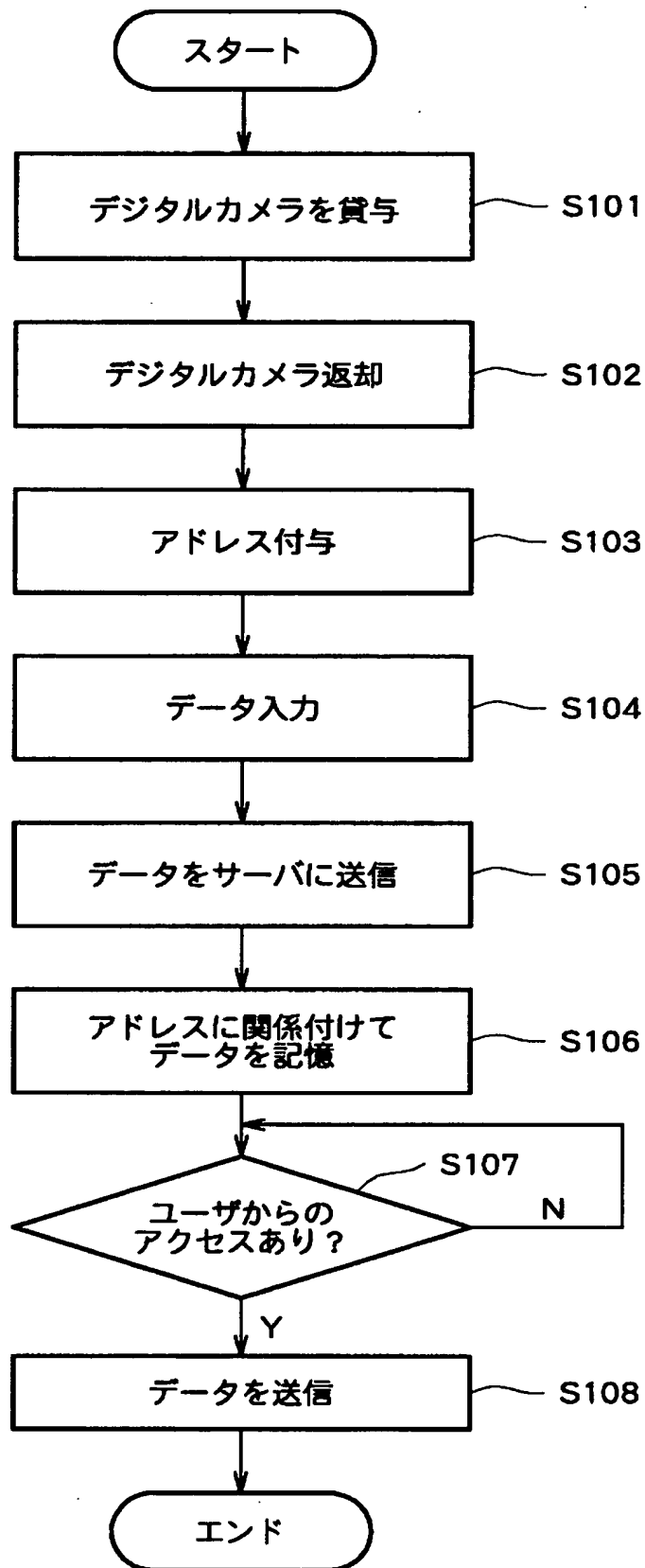
【図 7】



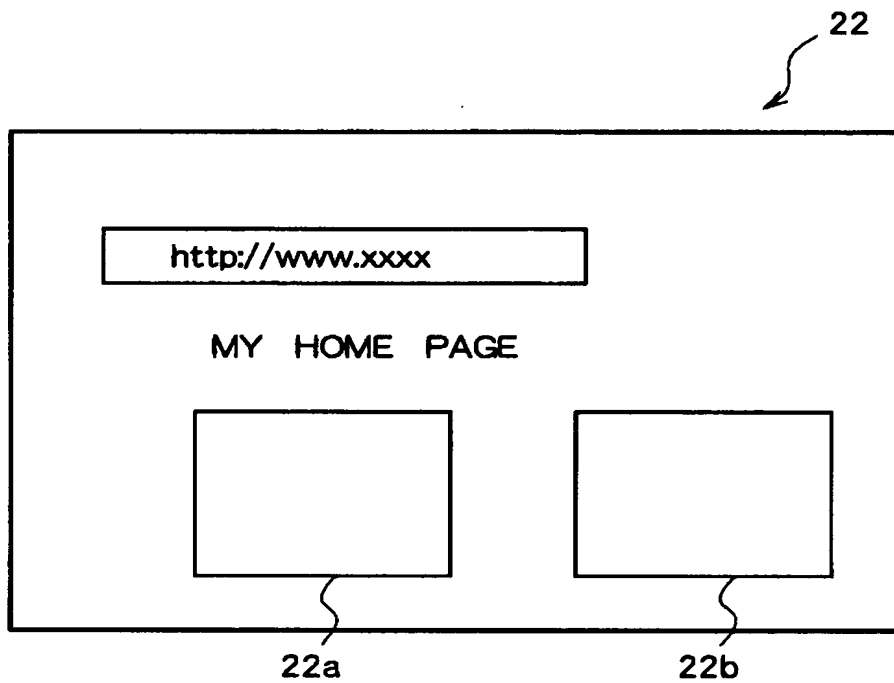
【図 8】



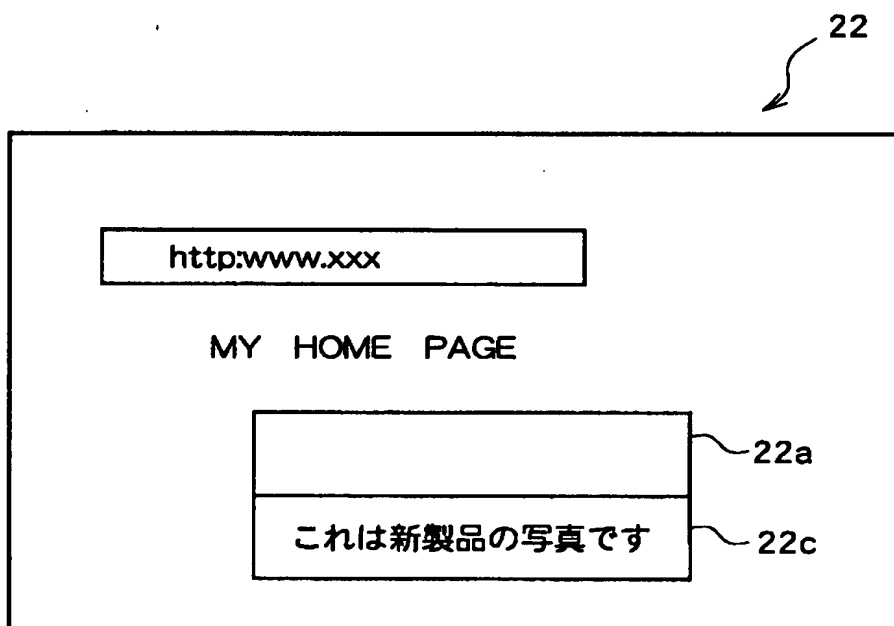
【図9】



【図 1 0】



【図 1 1】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 簡易にデジタル画像データを撮影し、かつその結果を入手する。

【解決手段】 ユーザ 1 0 は店舗 1 2 からデジタルカメラを借り受け、所望の画像を撮影して店舗 1 2 に返却する。店舗 1 2 では、ユーザ 1 0 に対して一義的にアドレスデータ（URL）を付与すると共に、ユーザ 1 0 の撮影した画像データをインターネット 1 6 を介してサーバ 1 4 に格納する。ユーザ 1 0 は店舗 1 2 から与えられたアドレスを用いてサーバ 1 4 にアクセスし、自己の撮影した画像データを入手する。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [0 0 0 0 0 1 8 8 9]

1. 変更年月日 1 9 9 3 年 1 0 月 2 0 日

[変更理由] 住所変更

住 所 大阪府守口市京阪本通 2 丁目 5 番 5 号

氏 名 三洋電機株式会社